

科目名	イベントプランニング			担当講師	横山 聡史
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期 間	後期	総授業回数	11 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	実際の現場での行動を通して、判断力・コミュニケーションなど、共に作り上げていく工程を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月16日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。 グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と企画工程を学ぶ。			
2	10月23日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、円滑なコミュニケーションを保ちながら企画を形にしていく工程を学ぶ。			
3	10月30日	企画実習② 自らの企画を再考し、より良い内容にしていく工程を学ぶ。			
4	11月6日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく工程を学ぶ。			
5	11月13日	企画実習④ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。			
6	11月27日	1班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。			
7	12月4日	2班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。			
8	12月11日	3班シミュレーション 実施案に基づいてゲネプロを行い、自ら課題点を修正する工程を学ぶ。			
9	1月22日	1班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。			
10	1月29日	2班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。			
11	2月5日	3班イベント本番 企画と実施案を忠実に現場で反映させると共に、必要に応じて現場判断する工程を学ぶ。			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	66時間中 23時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	業界マナー		担当講師	千葉 彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー/サウンド・ステージ専攻	授業形態	講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	言葉遣い、身だしなみなどを身に付け、周囲とのコミュニケーション法や社会人としてのマナーを修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス / ビジネスマナーがなぜ必要なのか？			
2	10月17日	敬語について			
3	10月24日	敬語について-復習 / 日常的に使う言葉、業界特有の敬語や言葉遣いについて			
4	10月31日	雑談のマナーについて(上司や目上の方とのコミュニケーション)			
5	11月7日	挨拶について			
6	11月28日	身だしなみについて			
7	12月5日	報告・連絡・相談について			
8	12月12日	練習問題			
9	1月23日	電話、メールのマナー・ルールについて			
10	1月30日	業界マナーについて			
11	2月6日	車の座席について・応接や会議室の座席について			
12	2月13日	定期試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	12時間中 4時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	マネジメントⅡ		担当講師	佐藤 喬	
講師実務経験	2010年～現在 ソニーミュージックで北海道エリアの新人アーティスト発掘・育成業務 2015年～現在 北海道ボーイズグループ“NORD”マネジメント業務				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	90 分
修 得 目 標	芸能マネージャーとしての一般的な知識や専門的な実務内容を教え 現場で即戦力となるべくスキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	ブレインストーミングについて 説明と実習			
2	10月17日	個々を生かすチーム作り、チーム内マネジメントについて			
3	10月24日	長期スケジュール管理、作成、進行について①			
4	10月31日	長期スケジュール管理、作成、進行について②			
5	11月7日	長期スケジュール管理、作成、進行について③			
6	11月28日	長期スケジュール管理、作成、進行について まとめ(プレゼンテーション)			
7	12月5日	ライブ・イベント時の「指示書」制作①			
8	12月12日	ライブ・イベント時の「指示書」制作②			
9	1月23日	プロモーターとマネジメントの関係性①			
10	1月30日	プロモーターとマネジメントの関係性②			
11	2月6日	身近な問題からヒットを生み出す練習①			
12	2月13日	身近な問題からヒットを生み出す練習② / 一年を振り返り試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	授業内容によりPCのご用意ご相談させていただきます				
注意事項	24時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	商品企画制作		担当講師	千葉 彩乃	
講師実務経験	コンサートやイベント現場における電源供給・保守管理業務に従事				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	270 分
修 得 目 標	独自性のある商品コンセプトを立案し、自身のアイデアを適切に伝える能力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月11日	授業ガイダンス / 商品企画の意義と流れの説明			
2	10月18日	市場調査の基本と顧客ニーズの分析方法			
3	10月25日	市場調査の基本と顧客ニーズの分析模擬実践			
4	11月1日	独自性のあるアイデア発想を生み出す考え方			
5	11月8日	プロトタイプについて			
6	11月29日	アイデアの出しと選定方法①			
7	12月6日	アイデアの出しと選定方法②			
8	12月13日	プレゼンテーションの練習			
9	1月24日	グループごとの商品企画プレゼンテーション、評価と振り返り			
10	1月31日	プロモーション計画について			
11	2月7日	修得した知識とスキルのまとめ			
12	2月14日	総括			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	72時間中 25時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	CAD実習Ⅲ			担当講師	佐藤直子
講師実務経験	建築士.インテリアコーディネーター				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期 間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	135 分
修 得 目 標	ベクターワークスを利用した図面製作方法.利用方法.表現方法 を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	授業ガイダンス 前期の復習			
2	10月19日	企画書について 課題(店舗製作)			
3	10月26日	課題(店舗製作) コンセプト 計画			
4	11月2日	課題(店舗製作) 平面図.立面図.製作			
5	11月9日	課題(店舗製作) 展開図.製作			
6	11月30日	課題(店舗製作) デザイン イラストレーター互換性			
7	12月7日	画像取り込み含む図面製作			
8	12月14日	課題(店舗製作) 仕上			
9	1月18日	発表			
10	1月25日	画像トレースと縮尺について 課題(ホール)			
11	2月1日	課題(ホール)			
12	2月8日	課題(ホール)			
13	2月15日	3D機能について(応用)～まとめ			
評価方法	作品提出評価(100%)、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	イベントプランニング			担当講師	横山 聡史
講師実務経験	広告代理店～WEB企画制作会社設立～フリーのディレクター／プロデューサー				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	実習
期間	後期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	135 分
修得目標	「イベントプランニング」授業と連動し、企画のための情報収集と、提案・説得能力について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月12日	グループ分けを行い、企画テーマについてオリエンテーション。グループごとに基本的な案出し(ブレインストーミング)を行い、課題解釈力と企画工程を学ぶ。			
2	10月19日	企画実習① 情報やデータ収集とともに、円滑なコミュニケーションを保ちながら企画を形にしていく工程を学ぶ。			
3	10月26日	企画実習② 自らの企画を再考し、より良い内容にしていく工程を学ぶ。			
4	11月2日	企画実習③ 出された案を整理・統合し、企画案としてまとめていく工程を学ぶ。			
5	11月9日	企画実習④ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。			
6	11月30日	企画実習⑤ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。			
7	12月7日	企画実習⑥ 企画をベースに実施案の詳細を作り上げていく工程を学ぶ。また関連する各コースに対し、的確に情報を伝達する必要性を学ぶ。			
8	12月14日	1班シミュレーションに基づき、課題点を明らかにするとともに改善方法を見出す工程を学ぶ。			
9	1月18日	2班シミュレーションに基づき、課題点を明らかにするとともに改善方法を見出す工程を学ぶ。			
10	1月25日	3班シミュレーションに基づき、課題点を明らかにするとともに改善方法を見出す工程を学ぶ。			
11	2月1日	1班反省会&実施報告書作成 自らを振り返り、課題点を洗い出すことで、次回企画への改善点とする工程を学ぶ。			
12	2月8日	2班反省会&実施報告書作成 自らを振り返り、課題点を洗い出すことで、次回企画への改善点とする工程を学ぶ。			
13	2月15日	3班反省会&実施報告書作成 自らを振り返り、課題点を洗い出すことで、次回企画への改善点とする工程を学ぶ。			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	時事研究		担当講師	山田 佳晴	
講師実務経験	テレビ・放送関連会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ関連科目受講者		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	ニュースを日常生活の思考・行動に活用し、成人としての視野を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	直近のニュースについて⑧			
2	10月20日	直近のニュースについて⑨			
3	10月27日	直近のニュースについて⑩			
4	11月10日	直近のニュースについて⑪			
5	12月1日	直近のニュースについて⑫			
6	12月8日	直近のニュースについて⑬			
7	12月15日	直近のニュースについて⑭			
8	1月19日	直近のニュースについて⑮			
9	1月26日	直近のニュースについて⑯			
10	2月2日	直近のニュースについて⑰			
11	2月9日	直近のニュースについて⑱			
12	2月16日	講義振り返り、試験対策			
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	就職ガイダンス		担当講師	一岡 永	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	就職対象専攻		講義
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	45 分
修 得 目 標	社会人としての心構え、必要な知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	新社会人の心得			
2	10月20日	新入社員 仕事の進め方について			
3	10月27日	各種保険、年金、税金の概要			
4	11月10日	名刺交換について			
5	12月1日	仕事の目標設定について			
6	12月8日	業界の仕事の繋がりについて			
7	12月15日	来客対応の基本とコツ			
8	1月19日	上座と下座について			
9	1月26日	職場における電話対応			
10	2月2日	服装のマナー			
11	2月9日	先輩や上司との付き合い方			
12	2月16日	総まとめ			
評価方法	3分の2以上の出席で修得済評価				
評価	評価 修得済				
テキスト	無し				
注意事項	12時間中5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SNSプロモーション		担当講師	千葉 彩乃	
講師実務経験	コンサート・イベント現場電源供給・保守管理				
対象学年	2 学年	対象コース	コンサート制作・マネージャー専攻	授業形態	講義
期間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	135 分
修得目標	SNSの基礎知識を学び、効果的なターゲットの分析、コンテンツ作成を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月13日	SNSプロモーションの概要と目標の設定			
2	10月20日	主要なSNSプラットフォームの紹介と特徴の解説			
3	10月27日	プロモーション戦略の作成と目的に合わせたアプローチの選定方法			
4	11月10日	クリエイティブなコンテンツの作成と共有方法			
5	12月1日	ハッシュタグの活用方法とトレンドの把握			
6	12月8日	コンプライアンス、ネガティブな意見への対応策			
7	12月15日	授業題材用SNSの立ち上げ準備			
8	1月19日	授業題材用SNSの立ち上げ			
9	1月26日	広告効果の測定と改善策の検討			
10	2月2日	SNSコンテンツ作成			
11	2月9日	SNSコンテンツ作成			
12	2月16日	プロモーションの振り返りと成果の評価			
評価方法	定期試験点数、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:C				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	選択 PA実習		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	PAの機材、仕事内容を理解し簡易PAシステムの設置&モニターオペレートを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き、PA仕事説明			
2	10月17日	PAコンソール(卓)、モニター仕込み図説明			
3	10月24日	仕込み図を見ての仕込み作業			
4	10月31日	仕込み作業試験			
5	11月7日	モニタースピーカー、AUX等の説明			
6	11月28日	エフェクター、AUX等の説明			
7	12月5日	仕込み図をプラスして仕込みの練習(SPX990)			
8	12月12日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
9	1月23日	モニター送りの基本オペレーション仕込み練習			
10	1月30日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
11	2月6日	モニター送りの基本オペレーション仕込み試験			
12	2月13日	後期試験対策他			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	2年 REC選択実習		担当講師	金沢琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	REC選択者		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
				135 分	
修 得 目 標	スタジオの録音機材・基本システムについての知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	スタジオシステムの概要			
2	10月17日	調整卓の基本1			
3	10月24日	調整卓の基本2			
4	10月31日	マイクロフォン基礎1			
5	11月7日	マイクロフォン基礎2			
6	11月28日	エフェクタ基礎1			
7	12月5日	エフェクタ基礎2			
8	12月12日	ProToolsオペレーション基礎1			
9	1月23日	ProToolsオペレーション基礎2			
10	1月30日	マイクセッティング基礎			
11	2月6日	録音実践1			
12	2月13日	録音実践2			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)				
	成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	カラーコーディネート	担当講師	木村 真祐美
講師実務経験	カラーコーディネーター、カラーセラピスト		
対象学年	2 学年	対象コース	スタッフ系コース
期 間	後期	総授業回数	12 回
			1回あたりの授業時間
修 得 目 標	色の持つ効果を知り、色に関する感性を磨き、仕事に役立つ実践的な色彩知識を修得する。		
回数	日程	【授 業 計 画】	
1	10月10日	授業ガイダンス	
2	10月17日	色彩基礎知識について	
3	10月24日	色の働きと色の見える仕組みについて	
4	10月31日	色の感情作用、知覚的効果について	
5	11月7日	パーソナルカラー(似合う色)について①	
6	11月28日	パーソナルカラー(似合う色)について②	
7	12月5日	色とイメージの関係について①	
8	12月12日	色とイメージの関係について②	
9	1月23日	カラーセラピー(色彩心理)について	
10	1月30日	色彩調和・配色技法について	
11	2月6日	ビジュアルデザインと色彩の関係について	
12	2月13日	定期試験対策	
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A		
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)		
テキスト			
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)		

科目名	選択 照明実習		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
修 得 目 標	舞台照明の基本について修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	照明機材やケーブルについて			
2	10月17日	機材の仕込み方について(点灯するまでの仕組み)			
3	10月24日	配線ケーブルや変換ケーブルを使用する仕込みについて			
4	10月31日	カラーフィルターやフォーカスについて			
5	11月7日	フロア仕込みについて			
6	11月28日	フォーカスの名称について			
7	12月5日	操作卓について			
8	12月12日	ケージの強弱や明りの組み合わせについて			
9	1月23日	復習仕込み			
10	1月30日	応用仕込み			
11	2月6日	実技テスト対策			
12	2月13日	実技テスト、筆記試験対策			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	動画制作		担当講師	高橋 学	
講師実務経験	映画制作会社取締役				
対象学年	2 学年	対象コース	各専攻		授業形態
期 間	後期	総授業回数	12 回	1回あたりの授業時間	
					135 分
修 得 目 標	動画制作を通して、映像全般の知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	10月10日	授業ガイダンス。映像の知識①。			
2	10月17日	映像の知識②。プリプロダクション①。			
3	10月24日	映像の知識③。プリプロダクション②。			
4	10月31日	機材選び。テスト撮影。リハーサル。			
5	11月7日	撮影実習①。			
6	11月28日	撮影実習②。			
7	12月5日	撮影実習③。			
8	12月12日	編集①。基本的な編集の知識。			
9	1月23日	編集②。荒編までの知識。			
10	1月30日	編集③。BGM、効果音の入れ方。			
11	2月6日	編集④。仕上げ。			
12	2月13日	試写、まとめ。			
評価方法	定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	なし				
注意事項	36時間中 13時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				